

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表：2025年 3 月 14 日

事業所名：児童発達支援事業所 スマイルふしみ

	チェック項目	工夫している点
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	法令を遵守したスペースを確保しています
	2 職員の配置数は適切である	法令で必要とされる配置数に加え、児童指導員や保育士等を2名以上配置(常勤換算による算定)しています
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	構造化や視覚支援を用いてわかりやすいよう配慮しています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	毎日清掃・消毒を行い、活動内容に合わせて遊具等を選択・設置しています
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	日々の振り返り・会議等で職員全員への周知を図っています
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	ご利用に関するアンケートを実施し、業務改善に繋げています
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	ホームページで公開しています
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	外部評価は現在のところ実施しておりません
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	外部研修では資格取得等を目指し、内部研修では他事業所と合同ケースカンファレンス等を実施しています
適切な支援	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	家庭や保育園・幼稚園での様子等、また保護者の意向を伺い、療育の中で の様子を踏まえて支援計画を作成しています
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	状況に応じてK式発達検査の実施や乳幼児発達スケール(KIDS)等を用い、子どもの発達状況を把握しています
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	客観的な情報の処理と共に、職員同士で指摘しあいながら選択・設定を行っています
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	毎日、出席予定の子どもの支援計画に目を通し、個々の支援を確認しています またケース記録も児童発達支援計画に沿って記載しています
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	職員一人一人が案を出し、プログラムの立案にかかわっています

援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	必要な刺激、個々の課題を遊びの中に盛り込み、子どもたちが楽しく、そして積極的に活動できるようなプログラムを月単位で作成しています
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	子どもの状況や発達に応じて個別が必要となる時は職員が個別に関わり、様々な状況に臨機応変に対応できる支援計画を作成しています
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	毎日、出席予定の子どもの支援計画に目を通し、個々の支援を確認しています
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	職員それぞれが気づいたことを話し合うことで、子どもの全体像が握できるように、また次回の支援に繋がる振り返りを心がけています
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	個人ファイルに子どものその日の様子、他児や職員との関わり等、すべて記録を取り、子供の成長がわかるよう、また振り返りが出来るようにしています
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	必要・要望に応じてその都度モニタリング、計画の見直しを行い6か月に一度以上はモニタリング、計画の見直し・変更を行っています
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	基本的には管理者が参加し、可能な場合には担当職員も一緒に参加しています
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	必要に応じて児童福祉センターや京都市・はぐくみ室と連携を取り、助言を受けたり情報交換を行っています
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	現在は医療的ケアを必要とする方の利用はございませんが、今後医療的ケアが必要な子供の利用がある場合には、地域の保健等と連携支援を行えるよう努めます
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	現在は医療的ケアを必要とする方の利用はございませんが、今後医療的ケアが必要な子供の利用がある場合には、主治医等と連携体制を整えるよう努めます
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	相談や相互に見学を行い、情報共有・相互理解を図っています また就学支援シートを作成し、保護者にお渡ししています
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	相談や相互に見学を行い、情報共有・相互理解を図っている、また就学相談・就学支援シートにも携わっています
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	助言や研修の内容を記録・保管し職員間で共有しています
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	プログラムには取り入れておりません
	29	(自立支援)協議会児童部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	自立支援協議会、小学校区の連絡会等の会議やイベント等にも参加しています
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	送迎時、療育中にも情報共有・相互理解を図っています
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	不定期で保護者交流会・保護者勉強会を開催しています
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	資料等も使用しながら説明を行っています

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	課題や支援内容の説明と質疑応答により、理解・同意を得るようにしています 送迎時
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	送迎時、療育中でのこちらからの問いかけや、必要・要望に応じてその都度 面談等を行っています
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	不定期で保護者交流会・保護者勉強会を開催しています
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	必要・要望に応じてその都度迅速に見学や面談等を行うための人員体制をとっています
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月活動予定表を発行し、不定期で活動の様子をインターネットで確認出来るよう発信しています
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	個人情報に記載された書類は鍵のついた書庫に保存し、個人情報にアクセス出来る端末にはパスワードを設定しています
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	ご本人・保護者様の状態や状況に応じて意思疎通・情報伝達方法の配慮をしています
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	地域のイベントに要員として参加する等しています
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	マニュアルを策定し、訓練を実施しています
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	避難訓練等を実施しています
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	契約時や面談時に状況を確認しています
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	アレルギーの有無を確認し、活動時に該当物質との接触が起こらないよう留意しています
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、職員間で共有しています
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	マニュアルを策定し、研修を実施しています
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	現在該当児童の利用がありませんが、研修を実施しています

○この「事業所における自己評価結果(公表)は、事業所全体で行った自己評価です。